

播磨町

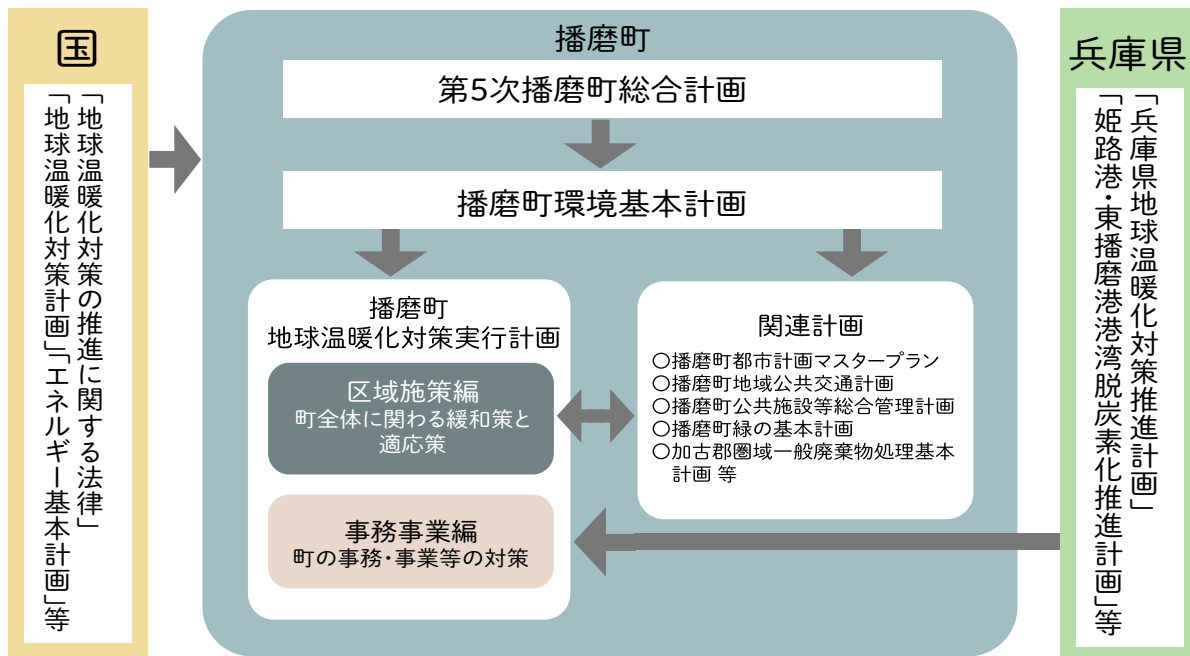
地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

概要版

計画の目的

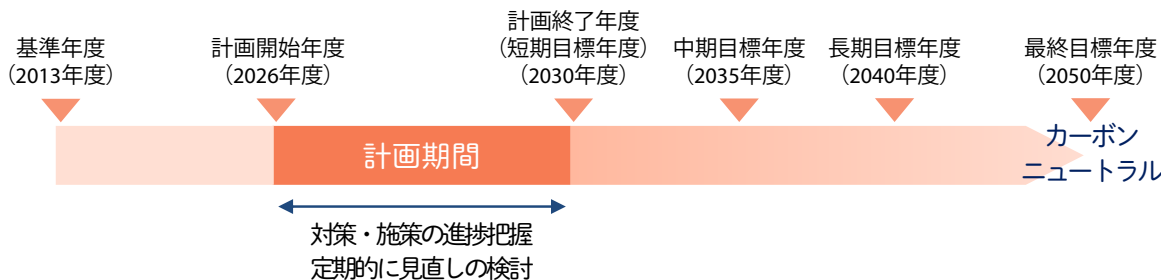
播磨町内から排出される温室効果ガスの状況を捉え、その量を削減する目標を定め、住民・事業者・町のそれぞれが率先して地球温暖化対策の取組みを推進することを目的とします。

位置づけ



計画期間

基準年度は2013年度とし、計画期間は2026年度から2030年度までの5年間とします。



対象とする範囲、温室効果ガス

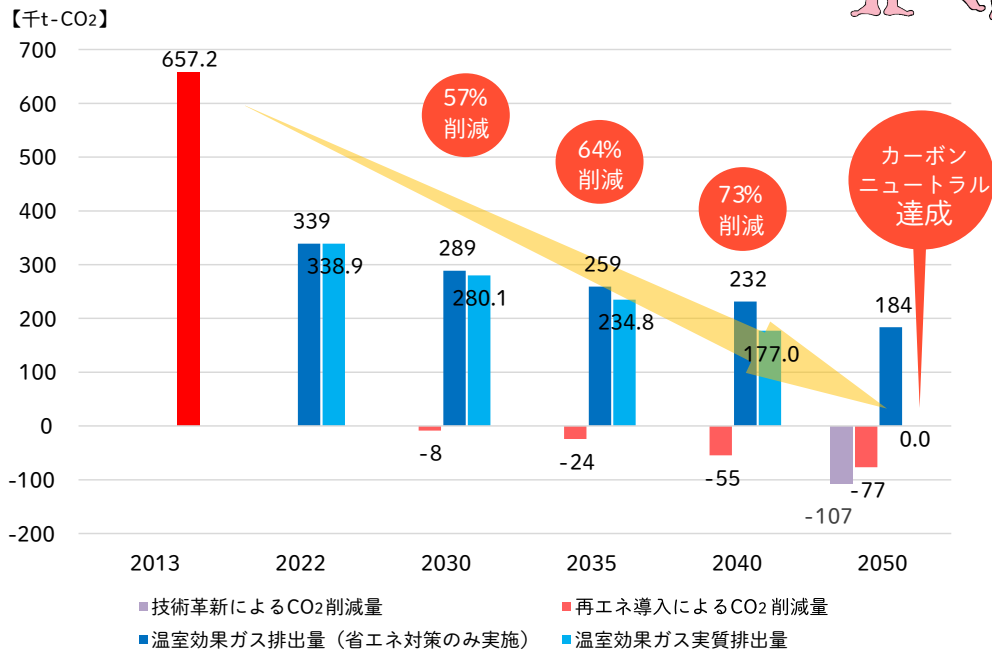
本計画の対象地域は、本町全域とします。また、対象とする温室効果ガスは、人為的排出量が多く、地球温暖化に対する影響が最も大きいとされている二酸化炭素(CO₂)とします。

播磨町は2050年度までに カーボンニュートラル達成を目指します！

温室効果ガス 削減目標

2030年度までに **57%**以上削減
2035年度までに **64%**以上削減
2040年度までに **73%**以上削減

※いずれも2013年度比



部門	温室効果ガス排出量【千t-CO ₂ 】					
	2013年度 (基準年度)	2022年度 (現況年度)	基準年度比 削減率	2030年度 (短期目標)	基準年度比 削減量	基準年度比 削減率
産業部門	517.8	230.4	▲55.5%	207.2	▲310.6	▲60.0%
業務その他部門	34.2	25.2	▲26.3%	17.9	▲16.3	▲47.6%
家庭部門	45.4	32.5	▲28.4%	23.0	▲22.4	▲49.3%
運輸部門	56.7	50.8	▲10.5%	32.0	▲24.7	▲43.6%
廃棄物分野 (一般廃棄物)	3.1	0.0	▲100.0%	0.0	▲3.1	▲100.0%
合計	657.2	338.9	▲48.4%	280.1	▲377.1	▲57.4%

※四捨五入の関係で、合計値・割合は整合しない場合があります。

再生可能エネルギー 導入目標

主に太陽光発電、太陽熱利用設備を導入促進します。

2030年度までに **1.5倍**導入
2035年度までに **2.1倍**導入
2040年度までに **2.9倍**導入
2050年度までに **5.0倍**導入

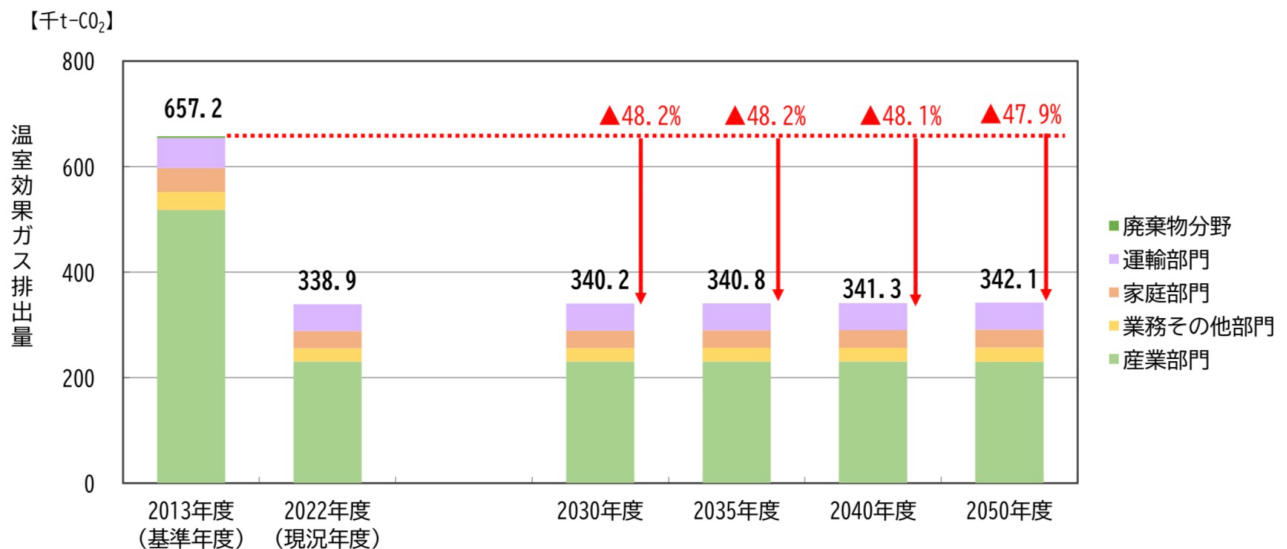
※いずれも2022年度比

温室効果ガス排出量は？



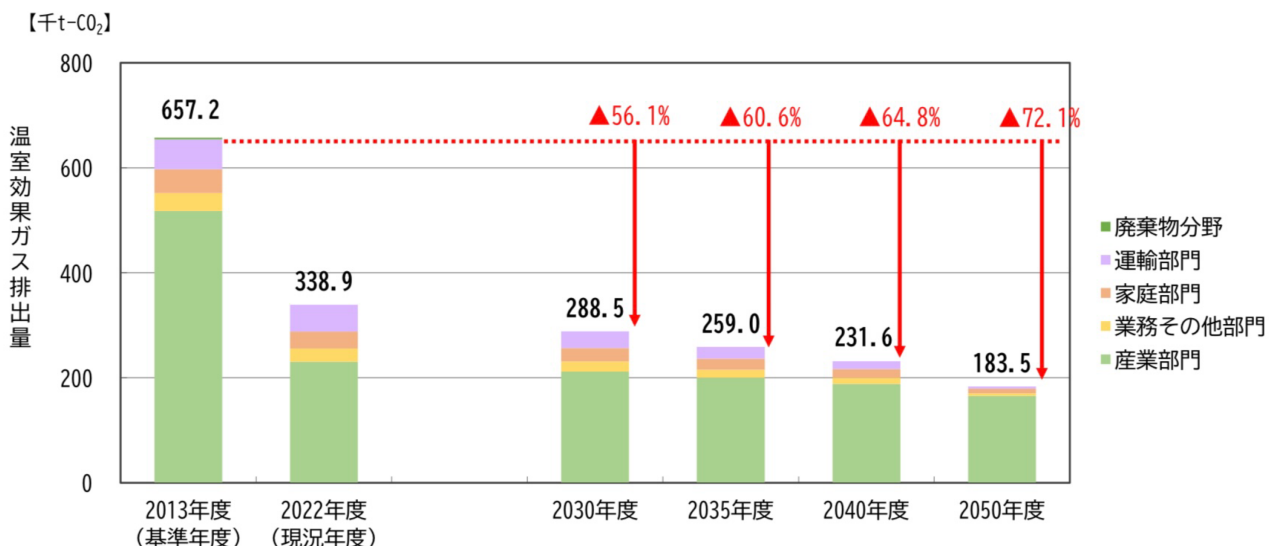
省エネ対策を行わない場合

これまで、皆さんの省エネ対策等の実施により、温室効果ガス排出量が 2013 年度比 48.4%削減できました。しかし、このままの対策で追加的対策を行わなかった場合、2030 年以降温室効果ガス排出量は微増していく見込みです。



省エネ対策を行った場合

皆さんで、更なる省エネ対策を行った場合、2030 年度には温室効果ガス排出量が 2013 年度比 56.1%まで削減でき、2050 年度には 72.1%まで削減する見込みです。



しかし！

省エネ対策だけでは、2050 年カーボンニュートラルの達成は難しいため、太陽光発電や太陽熱利用設備を導入していく必要があります。

現在、温室効果ガス削減に向けた技術革新が、社会全体で加速しています！

2050年の播磨町のすがた



わたしたちの2050年の未来は、人と地域が連携して、自然と共生する豊かで資源が循環するまちとなっていることを目指します。



人と地域、自然と共生する カーボンニュートラルシティ はりま ～未来へつなぐ、資源が循環する持続可能な安心安全なまち～

・買い物や通勤、レジャーにはEVで出かけ、蓄電池を活用して電化製品を使用しています。

・住民や事業者は、「デコ活」の取組が定着し、脱炭素型ライフスタイルやビジネススタイルの暮らしをしています。

・住民が利用するバスはデマンド化やEV化され、買い物などの移動手段として利用されています。

・サプライチェーン全体で脱炭素経営の取組が進んでいます。

・アマモ等の藻場が形成されCO₂を吸収しています。また、漁業が活性化しています。

・住宅や事業所の屋根には、景観に配慮した太陽光パネルが設置され、再エネ電力が使われています。

・船舶燃料は、LNG、アンモニア・水素等へ燃料転換が進んでいます。

・カーボンニュートラルポート(CNP)が構築され、エネルギーの地産地消が実現しています。



災害時にもエネルギーが自給でき
住環境の質の高い安心・安全な暮らしをしています。

基本目標と施策の方向性



2050年の将来像「人と地域、自然と共生するカーボンニュートラルシティはりま～未来へつなぐ、資源が循環する持続可能な安心・安全なまち～」を目指し、SDGs の概念を取り入れた3つの基本目標を設定し、それぞれ施策の方向性を掲げました。また、特に力を入れていく取組については、重点施策として位置づけました。

基本目標	【重点施策】 脱炭素に向けた 基盤づくり	施策の方向性
<p>(1) エコで未来につなぐ“安心・安全・快適”に暮らせるまちづくり</p>		<p>① デコ活の推進 ② 省エネルギーの推進 ③ 再生可能エネルギー、蓄電池の導入促進 ④ 移動における取組推進 ⑤ 資源の循環(3R の推進) ⑥ 気候変動による適応策(熱中症対策等)</p>
<p>(2) 脱炭素社会に向けた地域づくり</p>		<p>① カーボンニュートラルポートの推進 ② 里地・里海の保全 ③ エネルギーの地産地消</p>
<p>(3) 持続可能なまちを創る人づくり、仕組みづくり</p>		<p>① 環境学習・環境教育 ② 人と地域のつながり(協働・連携) ③ 環境価値の創出(J-クレジット制度の活用)</p>

※下線部は【重点施策】脱炭素に向けた基盤づくりに位置づけられるものとします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



次のページからは、重点施策の内容になります。(一部抜粋)

基本目標 **ICで未来につなぐ** **安心** **安全** **快適** に暮らせるまち

デコ活の推進

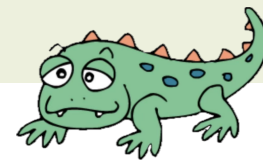
具体的な取組施策	住民	事業者
町が収集した情報を「広報はりま」やホームページ、SNS、インターネット等で収集しましょう。	●	●

省エネ家電・設備機器の導入

具体的な取組施策	住民	事業者
住民や事業者が取り組む内容やその効果等の情報については、積極的に町の「相談窓口(産業環境課内)」へ連絡しましょう。	●	●
冷蔵庫やエアコンなどは、統一省エネラベルを確認し、省エネ性能の高い製品に買い替えましょう。	●	●
蛍光灯からLED照明へ買い替えましょう。	●	●
高効率空調や高効率給湯器(エコキュート、エネファーム等)の購入を検討しましょう。	●	●
エアコンのフィルターを月に1~2回清掃しましょう。	●	●
室外機のまわりには、ものを置かないようにしましょう。	●	●
照明は、点灯時間を短く、明るさを下げ、調光機能や人感センサー機能を活用しましょう。	●	●
エアコンは、冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げましょう。冬の暖房時の室温は20℃を目安に設定しましょう。	●	●
冷蔵庫は、ものを詰め込みすぎず、開けている時間を短くし、設定温度は適切に行いましょう。	●	●
入浴は間隔をあけずに入りましょう。	●	●

再生可能エネルギー、蓄電池の導入促進

具体的な取組施策	住民	事業者
町からの情報を「広報はりま」やホームページ、SNS、インターネット等で収集しましょう。	●	●
住宅や駐車場、事業所の屋根等へ太陽光発電設備の設置を検討しましょう。※PPA、リース等の活用	●	●
再エネ電力共同オークションに参加し、再エネ電力を調達しましょう。	●	●
お風呂や給湯には太陽熱利用設備の導入を検討しましょう。	●	●



移動における取組推進

具体的な取組施策	住民	事業者
エコドライブを実践しましょう。	●	●
パーク&ライドに関する情報を「広報はりま」やホームページ、インターネット等で収集しましょう。	●	●
近距離を移動するときは、なるべく徒歩か自転車を利用しましょう。	●	●
通勤や買い物には、鉄道・バスなどの公共交通機関を利用しましょう。	●	●
次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッドなど)に買い替えましょう。	●	●



基本目標 持続可能なまちを創る

人

づくり、

仕組み

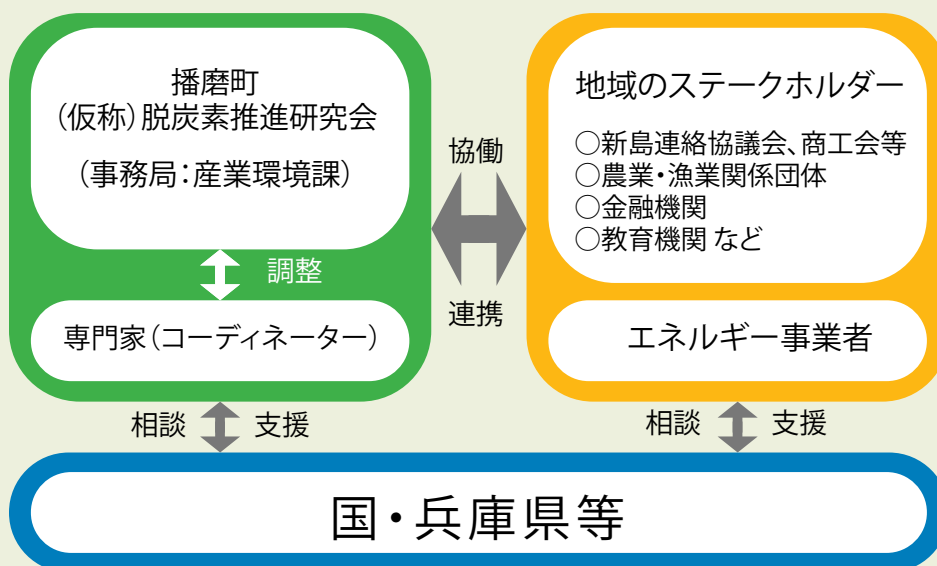
づくり

人と地域のつながり(協働・連携)

具体的な取組施策	住民	事業者
省エネ推進や再生可能エネルギー導入に関する不明点等があれば、積極的に「相談口(産業環境課)」へ相談しましょう。	●	●
天然ガスなどの燃料転換、メタネーション等を利用しましょう。		●
CCS(CO2回収・貯留技術)、CCUS(分離・貯留したCO2の利用技術)の可能性を検討しましょう。		●

計画の推進体制

地域のステークホルダーやエネルギー事業者とともに連携・協働し、国や兵庫県等の支援体制のもと、住民・事業者・町が三位一体となって2050年脱炭素社会を目指します。



国民運動「デコ活」チェックしてみましょう!



「デコ活」は環境省が推進する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称です。二酸化炭素を減らす「脱炭素(Decarbonization)」と環境に良い「エコ(Eco)」を組み合わせた言葉で、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国民一人ひとりのライフスタイル変革を後押しするものです。デコ活は環境にやさしいだけでなく、家計の節約にもつながります。身近なところから少しずつ、まずはできることから始めてみませんか。

具体的な取組策

- 町が収集した情報等を「広報はりま」やホームページ、インターネット等で収集しましょう。
- 環境に良い電気を選びましょう。(再エネ電力など)
- 住宅や駐車場、事業所の屋根等へ、自家消費型の太陽光発電設備の設置を検討しましょう。
- クールビズ・ウォームビズを実践しましょう。
- 省エネ住宅(断熱性の高い窓・壁・屋根)等の購入を検討しましょう。
- 高効率空調や高効率給湯器(エコキュート、エネファーム等)の購入を検討しましょう。
- 節水(節水シャワー、節水型トイレ等)を検討しましょう。
- 蛍光灯からLED照明へ買い替えましょう。
- 冷蔵庫は、省エネ性能の高い製品に買い替えましょう。
- エアコンは、省エネ性能の高い製品に買い替えましょう。
- 自動車を運転するときは、アイドリングストップや適正な速度での走行、急発進をしないなど、エコドライブを実践しましょう。
- 次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド車等)に買い替えましょう。
- 近距離を移動するときは、なるべく徒歩か自転車を利用しましょう。
- マイボトル・マイバッグの利用、正しいごみの分別などにより容器包装プラスチック等のごみを減らしましょう。

播磨町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

(令和8年3月)

〒675-0182 兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号
播磨町住民協働部産業環境課 TEL 079-435-2721
E-mail: sangyo@town.harima.lg.jp

